

人口減に歯止めを

安藤 武 議員



質問 人口減少原因は経済的負担から未婚者があまりにも多い。

結婚は本人同士だからと素通り出来ない社会問題と思うがどうか。

市長 結婚問題は大きな課題ですが行政としては雇用環境の改善で定住者を増やしたい、また保育所、子育て支援センターの充実で子育て環境を整えたい。

質問 定住対策では、多様化する住民ニーズの対応するのはかなり難しいが、行政の効率化だけで対応できるのか。

市長 市営住宅の新設や都市からの定住促進、また、企業誘致などに全力を挙げていきたい。

質問 雇用対策では求人倍率は地方では上がっていない。人口流出をくい止めるには



完成した平和橋

なんとしても雇用対策であるがどうするか。

市長 産業振興条例を作り新卒者の地元企業の紹介や、特殊技能の修得や資格の取得に支援をしていきたい。

道路網の整備について

質問 積雪観測地点の位置が問題と思うがどうか。

市長 問題点を見直して適切に対処出来るようにしたい。

質問 平和橋の高さの変更がらなげ起きたのか、又安全対策はどうするのか。

市長 県との協議で決めているので報告と食い違いがあるとするれば再度確認の上、十分な対応をしていく。

質問 池の沢線の道路延長は地域振興に大きく関わるので実現を望みたい。

市長 国道四十六号、一〇五号を結ぶ生活道として重

要路線と認識しているので現地を見ながら検討して行きたい。

質問 旧田沢湖町での岩石窃盗事件での賠償問題への今後の対応は。

市長 この問題も仙北市が引き継いだと思っておりますので、弁護士や県と協力しながら対処していきたい。

定住促進のための具体策は

信田 幸雄 議員

策など取り組んでいく課題は多いが、これらについての考えを伺いたい。

市長 定住促進対策は、少子化対策、雇用対策とセットとなっており県内にも大きな課題として以前から取り組んできている課題である。

あいつぐ官公庁の最先機関の廃止、一方、農業も機械化、省力化によりあまり労働力を必要としなくなった現在、働く場の開拓が必要であり、企業誘致については、いろいろな困難な課題もあるが来てもらえる企業に積極的にアタックし開拓していきたい。また、この地域で自ら職場

を作り、地域を魅力あるものにするため、農業では、一歩進めて原料を加工するなどして、付加価値を生み出す農業勝てる農業を達成するため、行政として今まで以上に支援し力を入れていきたい。この事は、商業工業にも言えることで、今までなかった仕事を作る以外人口流出に歯止めをかけることができない。

だから、これまでの固定観念に捕らわれない、単に待ちの姿勢でなく、新しい職場開拓のための認識を深め、仙北市として、総合計画の中に施策を明らかにしていきたいと思っている。

質問 市発注の工事請負はいずれも指名競争入札となっている、地方自治法の精神からも一般競争入札によるべきだと思いが、何故か伺いたい。

市長 一般競争入札の良さがある事は理解しているが、その業者の適格性を発注者がどうやって判断、判定するか難しい事もあって指名競争入札制度で行っている。今後、一般競争入札も出来るよう前向きに検討していきたい。当面は、公募型入札等実施し、競争入札に近づけるよう努力していきたい。